

新型 野生動物検知システム

道路での車と動物との衝突事故、列車との衝突事故、農地での農作物被害など、動物による被害が社会問題となっております。

本システムではロードキル対策として、野生動物が道路や田畑に侵入する前に2つのセンサーが検知しグリーンの照明からレッドの点滅照明に変化し野生動物の侵入をお知らせします。

■システムイメージ■



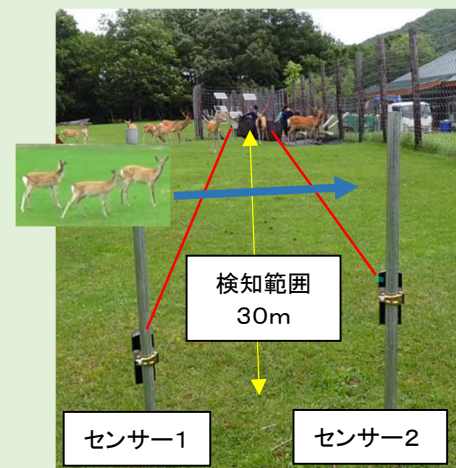
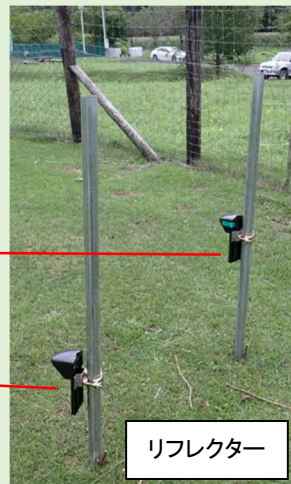
動物検知の様子

赤外線照射機能を搭載。
光源が全くない場所においても撮影が可能です。

～夜間～



～日中～



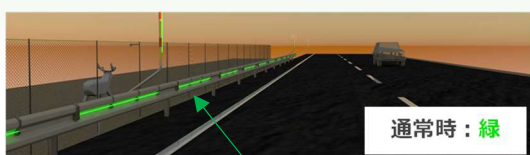
～システム特徴～

- ① 2つのセンサーにより誤検知を防止。
- ② 電源がない場所でも太陽光パネルで電力を作ります。
- ③ 検知範囲は30m であり広範囲の野生動物を検知します。
- ④ 野生動物を検知すると画像がリアルタイムで管理者のパソコンへ送信。
- ⑤ お手持ちのスマートフォンへも送信が可能です。

システム動作について

動物検知システムにて動物を検知
↓
視線誘導標に検知したことを通信
↓
視線誘導標の光が緑色から赤色へ変色。
ドライバーに注意喚起。
(野生動物検知後、1 分間赤点滅)

■視線誘導標による注意喚起のイメージ■



通常は、夜間の道路安全対策として緑色に発光。



動物検知後、赤色点滅にてドライバーに注意を促します。

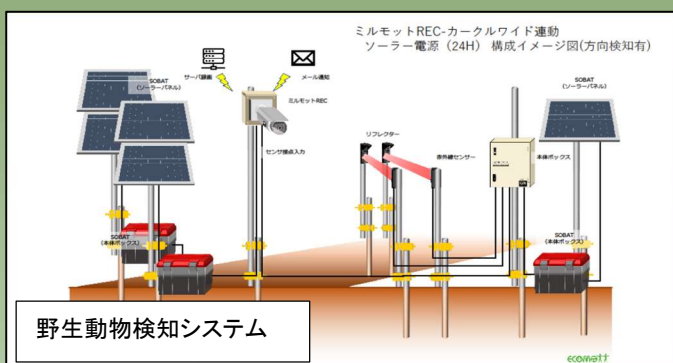


～使用用途の一例～

- ・田畑への野生動物侵入を通知。
- ・道路への野生動物侵入をドライバーへ知らせる注意喚起。
- ・防犯対策にも使用可能。
- ・センサーを変えるだけで様々な注意喚起に使用可能。



■野生動物検知システムと弊社の視線誘導標技術との融合



動物を検知後、視線誘導標に赤色点滅で注意喚起を行います。

弊社の視線誘導技術は、ワイヤーロープやガードレール、スノーポールなどの道路構造物に設置することが出来るため、様々な道路環境において注意喚起を促すことが可能です。

弊社の視線誘導標技術



SDGsに基づく防災レジリエンス商品

【持続可能な開発目標(SDGs)ターゲット】



弊社は道路の交通安全対策製品メーカーとして

「3.6 道路交通事故死者数を半減させる」

「11.2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する」

「15.5 生物多様性の損失を阻止し、絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる」

をターゲットにして製品開発に取り組んでいます。